

## 通常の学級に在籍する読み書きに困難のある 児童生徒のICT活用を含む授業改善研究

### 研究の経過

京都府総合教育センター特別支援教育部では、通常の学級に在籍する読み書きに困難のある児童生徒の「一人一人に応じた学び方」の実現を目指し、平成28年度から府内(京都市除く。)の複数の小・中・高等学校の協力を得て、ICTを活用した実践研究を進めてきました。



### 今年度の研究について

これまでの取組を通して、研究協力校が蓄積してきた「個への支援」が、全ての児童生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現につながるという仮説のもと、合理的配慮を含む授業改善に取り組みました。今年度は、昨年度の研究協力校(小学校2校、中学校1校、高等学校3校)が継続して取り組みました。

### Contents

- ・取組実践
- ・指導助言
- ・児童生徒の言葉
- ・教材のデジタル化支援



# 令和5年度の取組実践



## ▶ 通常の学級での合理的配慮を含む授業改善

研究協力校では、各教科等の学びに誰一人取り残されることのないよう、アクセスできる手段を多様に用意しました。様々な方法を児童生徒が自分で試し、自分に見合ったやり方を見つけていくことが、これからの学習や生活の意欲向上に繋がっていくことがわかりました。**個の学びや教科の本質に立ち返り、一律や一斉を見直す**視点をもち備える必要があります。



## ▶ 個別の指導計画の作成と活用に向けて

府内特別支援学校のセンター的機能を活用し、特別支援学校の先生と、小中高等学校の特別支援教育コーディネーターとが、一年間継続して話を重ねてきました。「誰が、どのように作成するとよいのか」「校内では、どのように活用したらよいのか」、学校の現状や課題を共に考えながら、校内での活用の仕方を模索することができました。特別支援学校のサポートをきっかけに、校内委員会が機能し始めた学校もありました。



## ▶ 校内支援体制の構築を目指して

教育的ニーズを有する児童生徒に対する支援や指導は、教職員の**共通理解と、連携・協働**が必要不可欠です。特別支援教育コーディネーターの働きかけが、多様な教育的ニーズを理解するためのきっかけを作りました。そのきっかけは、学年会や教科会等での情報共有、校内研修の実施、各校務分掌との連携等様々でした。これらの機会をとおして、**教育的ニーズのある子どもの支援を、学校全体で考える**ことができました。

今年度の実践はこちら /  
どうしたらいいの？

学校全体でできる取組は、  
どんなことがあるのだろうか？



## Information



- ・過去の研究報告冊子
- ・便利な無料アプリ一覧
- ・その他の作成物(学習指導案等)
- ・支援グッズの貸出し情報 等

特別支援教育部  
(京都府総合教育センター)



- ・学習指導、情報モラル、教育相談等に関する動画を掲載
- ・視聴にはパスワードが必要 (各校に通知済み)

学習支援コンテンツ  
(京都府総合教育センター)

# 研究協力



指導助言  
『合理的配慮の先にあるもの  
～読み書きの特別支援ニーズに対する  
ICT活用を通じて見えてきたこと～』

東京大学先端科学技術研究センター  
教授 近藤 武夫



指導助言  
『学びの多様性への対応』

京都教育大学  
教授 相澤 雅文

## ▶ 児童生徒の言葉

学習の主体者である児童生徒の思いに寄り添うことで、支援の在り方が見えてきました。



## ▶ 教材のデジタル化支援



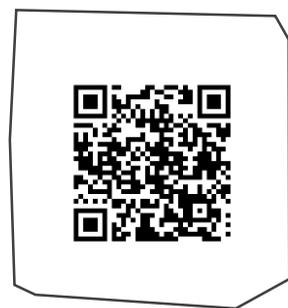
小学校学校図書館  
京都府総合教育センター  
京都教育大学(学びサポート室)



今年度も引き続き、読みに困難のある児童の学びを支えるため、対象児童の在籍する学校図書館×総合教育センター×京都教育大学(複製ボランティア)が連携をし、単元毎のまとめテストのデジタル化支援を行いました。

## プロジェクト研究のまとめ

児童生徒は、安心・安全な学校生活での成功経験を通して、自信をつけ、社会の中でもっている力を最大限、発揮することができるようになります。そのため、ICTを活用した学びの保障(基礎的環境整備)と、児童生徒の状況に応じた変更・調整(合理的配慮)を早期に心掛け、将来の自立した生活を目指して、取り組んでいくことが望まれます。研究協力校の取組や府内の支援体制を参考にしながら、自走できる学校が増えていくことを願います。



- ・音声教材の活用事例
- ・音声教材全般に関する情報
- ・「文章にルビを振る」(テキストに指定した学年のルビを振ることができる。)
- ・読み上げの設定方法やアプリの紹介

AccessReaing  
(東京大学先端科学技術研究センター)



- ・概要説明
- ・刊行物
- ・「学びサポート室」について

京都教育大学総合教育臨床センター

# 令和5年度京都府総合教育センター特別支援教育部プロジェクトチーム

東京大学先端科学技術研究センター 教授 近藤 武夫  
京都教育大学 教授 相澤 雅文

向日市立第2向陽小学校	教諭	野上 美和	教諭	奥野 成宏
南丹市立八木東小学校	教諭	高橋 あゆみ	教諭	山内 礼奈
南丹市立園部中学校	教諭	俣野 千秋		
京都府立北稜高等学校	教諭	西尾 朱里	教諭	柏原 那富
京都府立大江高等学校	教諭	安達 未来	養護教諭	榎木 章子
京都府立清新高等学校	教諭	平岡 聡明		

京都府立向日が丘支援学校地域支援センター (向日が丘相談・支援センター)  
京都府立宇治支援学校地域支援センター (地域支援センターうじ)  
京都府立丹波支援学校地域支援センター (たんば地域支援センター)  
京都府立中丹支援学校地域支援センター (中丹教育支援センター)  
京都府立与謝の海支援学校地域支援センター (丹後地域教育支援センターよさのうみ)  
京都府スーパーサポートセンター

京都府教育庁指導部特別支援教育課	指導主事	新田 幸世
京都府教育庁指導部ICT教育推進課	指導主事	藤田 一寿
京都府教育庁指導部高校改革推進室	指導主事	種岡 和哉

京都府総合教育センター 特別支援教育部	部長	千種 朋子
	主任研究主事兼指導主事	長谷川 法子
	研究員	辰巳 大雅
	教師力向上アドバイザー	酒井 弘
地域教育支援部	研究主事兼指導主事	森本 尚之
企画研究部	研究主事兼指導主事	鬼頭 宏和
研修・支援部	研究主事兼指導主事	市原 麻衣子
	研究主事兼指導主事	岩崎 佳子
	研究主事兼指導主事	岡村 佳之
	研究主事兼指導主事	植田 博樹
	研究員	渡辺 佳代子

## 令和5年度京都府総合教育センター特別支援教育部プロジェクト研究 研究報告

「通常の学級に在籍する読み書きに困難のある児童生徒の  
ICT活用を含む授業改善研究」

発行

令和6年3月

京都府総合教育センター

〒612-0064 京都府京都市伏見区桃山毛利長門西町

TEL 075-612-2953 (特別支援教育部)